神奈川県立平塚ろう学校 令和8年度第2回学校運営協議会 開催報告

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	神奈川県立平塚ろう学校における第2回学校運営協議会
開催期日	令和8年10月29日（木）
開催場所	神奈川県立平塚ろう学校 会議室
出席者	神奈川県立平塚ろう学校 学校運営協議会委員10名
次回開催予定日	令和9年2月頃
問合せ先	平塚ろう学校　副校長 木川 電 話　0463-32-0129 FAX　0463-32-1646 メール　hirarou-sd@pen-kanagawa.ed.jp
会議資料	次第 資料1 学校評価部会・切れ目ない支援部会レジメ 資料2 「生命（いのち）の安全教育」の推進について
議題	1　学校評価部会 2　切れ目ない支援部会 3　校内見学 4　協議・意見交換
審議（会議）経過	1.学校長あいさつ ・100周年記念式典を平ろう祭の中で実施し、幼児児童生徒の記憶に残る行事となった。 ・平ろう祭の展示物をららぽーと湘南平塚で展示中。 ・グループ協議では、学校運営協議会委員の皆さまから積極的な意見をお願いしたい。 2.学校運営協議会会長挨拶 ・電子黒板、ロイロノートの活用について説明を聞くことができた。世の中が急スピードで変化している。我々が勉強しなければいけない。その支援・応援・助けになるために学校運営協議会の存在意義がある。 3.学校評価部会（中間評価・校内見学） ・令和8年度の中間評価について、資料を基に説明を行った。 ・校内見学では、今年度新たに新設した進路コーナーを見学。卒業生の公的機関への就職実績についての質問や公的機関の障害者雇用情報の活用が提案された。 4.切れ目ない支援部会（報告） ・乳幼児相談、進路指導、医療連携および神奈川県聴覚障害者福祉センター

	との連携状況について報告を行った。 5.グループ協議 A 班「地域連携の充実に向けて ～地域と学校が Win-Win となる連携の在り方について」 ～主な意見～ ・ショッピングモール等との連携を通じ、聴覚障害者が利用しやすい商業施設づくりを検討。 ・地域住民向け講座などを通して学校の存在や役割を積極的に発信する必要がある。 ・福祉体験や「ひらつか障がい福祉ナビ」など既存資源を活用し、聴覚障害への理解啓発を進めることが重要。 B 班 テーマ「「生命（いのち）の安全教育」の効果的な取り組み内容や家庭、地域と連携した啓発の在り方について」 ～主な意見～ ・子どもが安心して SOS を発信できる環境づくりには、学校・家庭・地域の連携が不可欠。 ・教職員も幼児児童生徒も正しい知識を身に付けることが大切である。また、知識を学ぶだけでなく、それを日常生活の中で実際に活用できる力を育てることが重要。 ・日常的な信頼関係づくりが相談しやすい環境につながる。 ・失敗経験を含め、多様な経験を通して自ら支援を求める力を育てることが重要。 6.まとめ ・幼児児童生徒が安心して学校生活が送れるような環境づくりの重要性を確認した。 ・グループ協議は、初めての取組であったが、多様な立場から有意義な意見が出された。今後の教育活動に反映していきたい。 7.事務連絡 ・次回の学校運営協議会の日程について